

パーキンソン病診療最前線

- 特集にあたって……………順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科教授 服部 信孝
1. パーキンソン病の成因研究……………東北大学医学部神経内科准教授 長谷川隆文
2. 「パーキンソン病診療ガイドライン2018」の改訂ポイント
……………順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科先任准教授 下 泰司
3. 最新の診断法
- ① MIBG心筋シンチグラフィー……………日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野准教授 永山 寛
- ② DATスキャン……………埼玉医科大学総合医療センター神経内科 吉田 典史/野村 恭一
- ③ 嗅覚検査……………国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科医長 馬場 徹
4. 非運動症状への対応……………順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経内科准教授 深江 治郎
5. 適切な薬物療法……………国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科医長 西川 典子
6. 理学療法の実際
……………埼玉県総合リハビリテーションセンター副センター長兼医療局長兼診療部長 市川 忠
7. 遺伝子治療……………自治医科大学内科学講座神経内科学部門特命教授 村松 慎一
8. 再生医療……………京都大学IPS細胞研究所臨床応用研究部門 森実 飛鳥/高橋 淳
9. デバイス補助治療(脳深部刺激療法, デュオドーパ)……………福岡大学医学部神経内科学 藤岡 伸助
10. チーム医療のあり方……………順天堂大学医学部附属順天堂医院看護部 小尻 智子

編集後記

厚労省の統計不正が大きな問題となっている。“また厚労省か!”はさておき、統計は医学分野においてもエビデンスを集積していく上で基本かつ不可欠であることは論を俟たない。ただ現状、世界的にみてもわからないが、日本では統計学が軽視されてきたという意見をよく聞く。統計学者によると、学校教育における日本の統計教育は他国と比較しても極めて劣っているとのこと。今回の不正はそうした状況が招いたという観点からも顧みる必要があると思われる。また人を記号化・数値化

してしまうため顔が見えず、重大なデータを扱うという想像力が働きにくい側面が統計学にはあるのかもしれない。

豊潤な材料も、料理人の腕と調理器具次第で美味しくもできれば不味くもでき、都合良く悪用することもできる。もし今まで掲載された医学論文に統計学者の査読が加わっていれば、何割くらいrejectされていたのか知りたくないようで知りたいところである。(H)

Pharma Medica

ファルマ メディカ

Vol.37 No.3 2019.3

2019年3月20日発行

定 価 (本体1,700円+税:送料実費)

年間購読 (本体20,400円+税:送料当社負担)

発行者 松岡 光明

発行所 **メディカルレビュー社**

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-2-8 淀屋橋MIビル
TEL 06-6223-1468(代)

Pharma Medica編集部 TEL 06-6223-1556

販売部 TEL 03-3835-3049 FAX 03-3835-3075
e-mail sale@m-review.co.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル
TEL 03-3835-3041(代)

振替口座 大阪6-307302

http://www.m-review.co.jp

印刷 株式会社中島弘文堂印刷所

広告取扱店 メディックスエージェンシー TEL 080-5421-3501

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)・上映・譲渡に関する許諾権は(株)メディカルレビュー社が保有しています。

・**JCOPY** <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mailinfo@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・乱丁・落丁の際はお取り替えいたします。